

グループ名 ・代表者名	OPT (Ootama village Paddy field Tensegrity) 林 剛平さん	助成金額	30 万円
連絡先など	info@kanran-sha.net		
助成のテーマ	福島県大玉村における水田の放射能遮蔽効果の測定と、休耕田の実験的利活用の実践		

【調査研究の概要】

- ・震災から時間が経つにつれ調査結果を伝えるだけではなく、福島への農家への助力には衣食住の力が必要だと思いました。私は仲間に協力を呼びかけ、実際に福島で何かを作ろうと話し合いました。話し始めてから、3 年間はただ時間が過ぎていきました。その間に、福島では、除染と呼ばれる大型の土木事業が頻発していました。私は、農家の水田を作る治水技術は、行政の土木事業よりも少ない費用で、放射線を遮蔽することを可能にすることを試したいと思いました。
- ・大玉村五里田地区で求められていたのは人の活力でした。震災以後、農家にとって誇りであった農産物の価格は下落し、親しい人と分かち合うことも憚れ、そうしたことは、人々の活動を停滞させました。この状況を再び動かす動力が必要でした。その動力は、機械による一時の高速回転ではなく、人と植物と菌類による季節の繰り返しに沿った、大らかな回転であることが予感されていました。人を搾取することなく、価値を生み出すには、植物を菌によって発酵させるのが、在来の富を生む技術でした。その予感を、共感に練り上げるには、共感覚が必要だということも感じていました。五感を横断する能力は、人と人の間も横断していくと思います。昨年2月私は、大玉村の米の畑の跡地で藍を育てようと提案しました。

【調査研究の経過】

2016年2月21日	大玉村五里田にて水田乾燥状態の測定
2016年2月27日	歓藍社という名が付く
2016年5月1日	大玉村五里田にてポットにて藍の種まき
2016年5月29日	大玉村五里田にて藍苗を移植
2016年6月13日	宮城県栗駒千葉家の正藍冷やし染め見学
2016年6月中旬	日照りが続き藍の苗枯れる
2016年6月23日	宮城県栗駒千葉家から藍の苗を分けて頂く
2016年7月14日	大玉村五里田にて水田湿潤状態の測定。イネ丈股下。水ヌカム
2016年8月7日	第16回おおたま夏まつりに於いて、安達太良山の上に広がる“ほんとの空”をテーマに掲げ、「藍の生葉染め大会」「第一回世界藍染研究会」「安達太良山模型作りワークショップ」
2016年9月11-12日	大玉村五里田にて藍二番刈り、大玉村婦人会との藍染めワークショップ
2017年1月27日	東京芸術大学須永研究室にて発表 「時間・水・温度」
2017年3月18日	ヴィスバ・バラティ大学にて発表 Santiniketana, India「The blue revolution in the nuclear age」In-field Studio 2017
2017年6月9日	東京芸術大学須永研究室にて発表 「文脈・プロトン」

【今後の展望など】

- ・今年度以降も引き続き大玉村における休耕田の実験的利活用の実践として藍の栽培を行う。昨年度得られた知見から、水の遮蔽性に着目した住宅モデルを提案する。
- ・誇れる産物としての藍の六次化 ・水の放射線遮蔽効果を利用した住環境の放射線低減モデルの作成

会計報告書の概要 (金額単位: 千円)			充当した資金の内訳		
支出費目	内 訳	支出金額	高木基金の 助成金を充当	他の助成金 等を充当	自己資金
旅 費	調査旅費 (東京-福島往復)	450	300	0	150
滞在費	宿泊費	280	0	0	280
資料費	収穫祭・調査報告会設営資材 (竹、木、テント)	112	0	0	112
印刷費	会議資料 (6回)	12	0	0	12
	イベント告知チラシ	122	0	0	122
人件費	日当	500	0	0	500
運営経費	雑費	48	0	0	48
合 計		1,524	300	0	1,224

参考文献 (ウェブサイトや書籍、成果物など)

- ・ 歓藍社 <http://kanran-sha.net/>

福島県大玉村における 水田の放射能遮蔽効果の測定と、 休耕田の実験的利活用の実践

林剛平

OPT (Ootama village Paddy field Tensegrity)

歓藍社

goheygohey@gmail.com

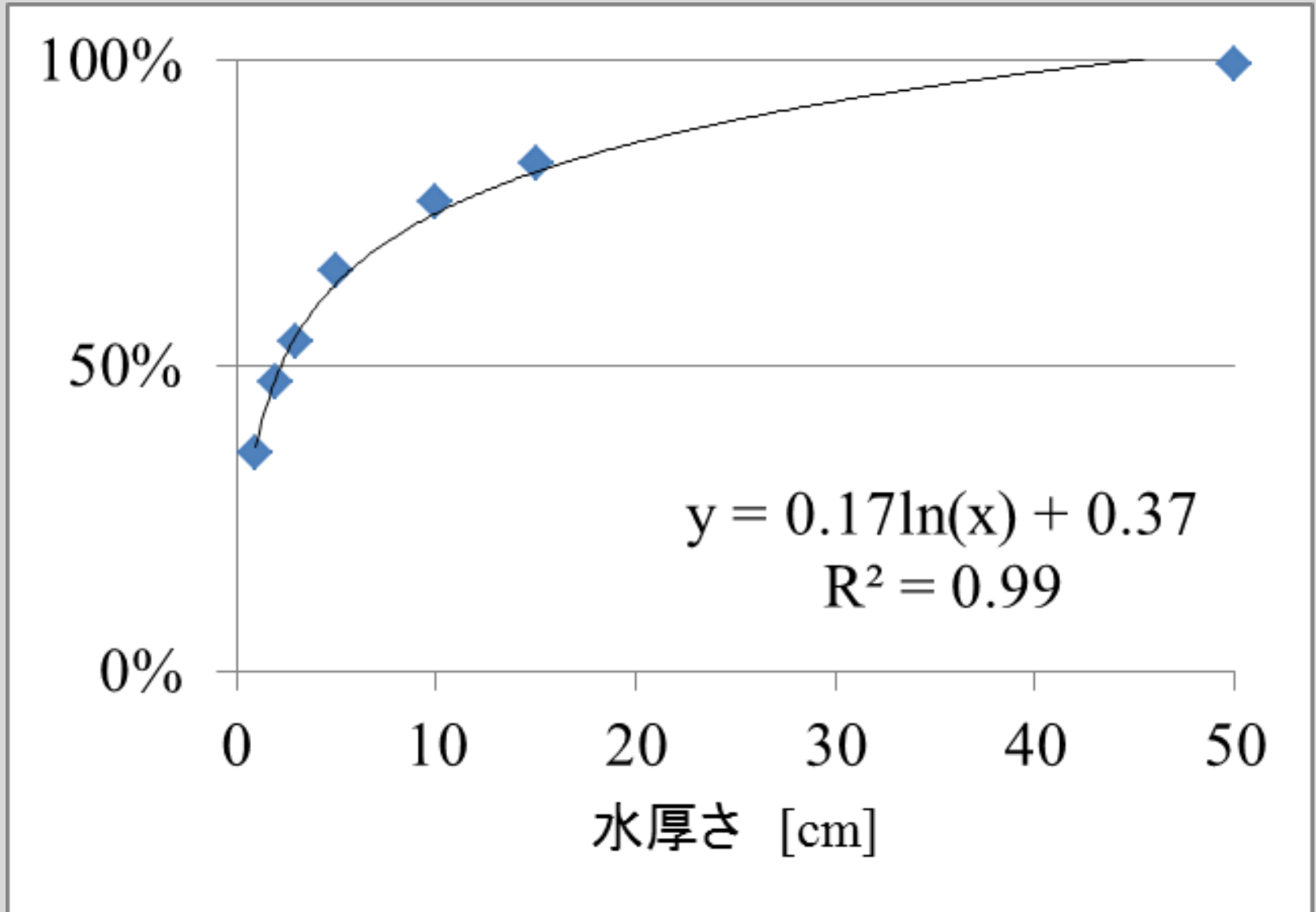
【高木基金】2017/6/25(日) 仙台 エル・ソーラ仙台 14:30-15:10

Time

Water

Temperature

水の遮蔽効果シミュレーション結果





飮藍社

KAN — RAN — SHA

Humanity-Indigo-Society

安達太良山の上に広がる
「ほんとの空の色」をつくりたい

Kan-Ran-Sha Ferris wheel



Rotate
generously

連菌術

Ren-Kin-Jyutu

alchemy

- To produce value
- without exploiting people,
- fermenting plants with fungi









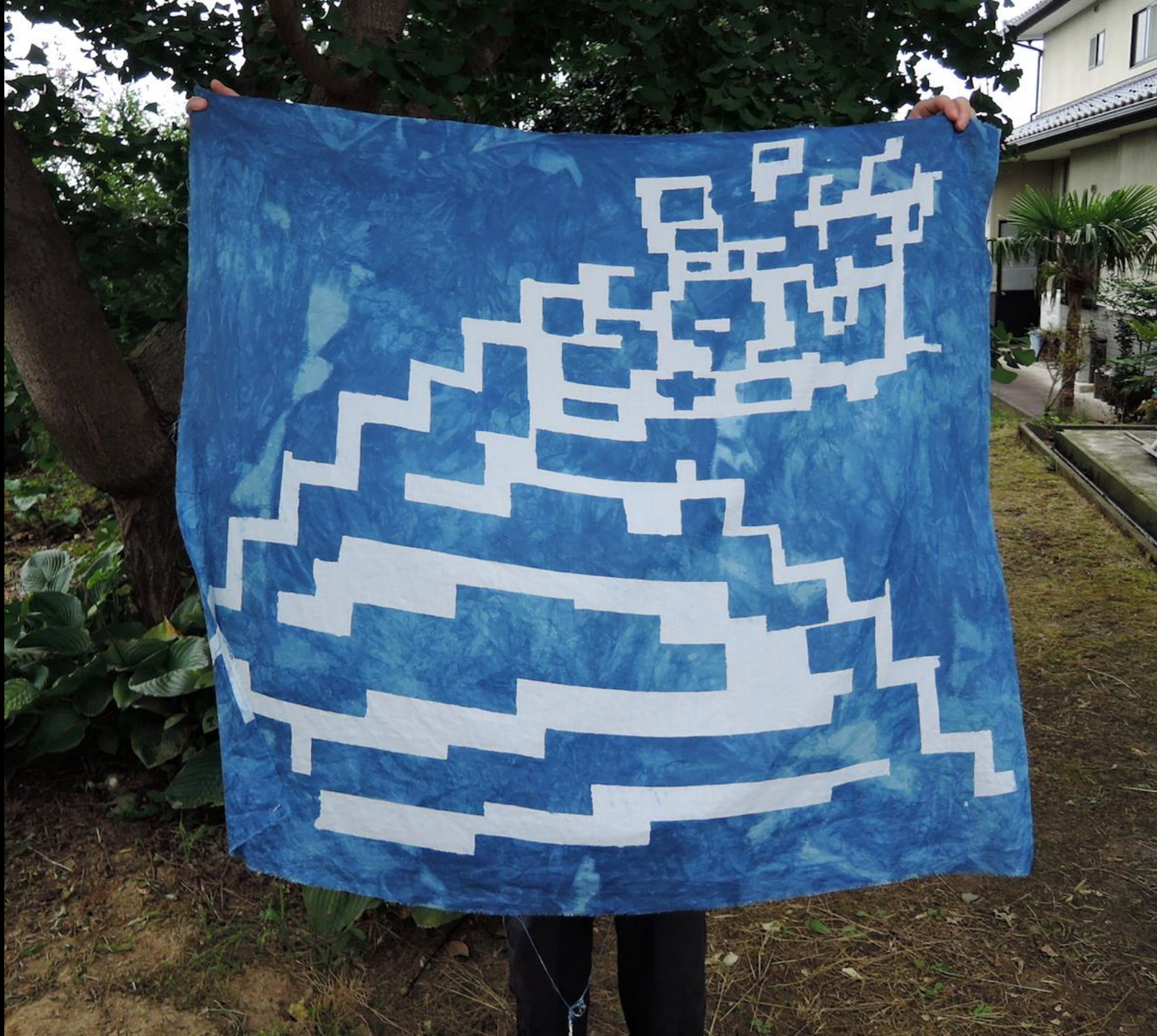
























2017/7/16-17@大玉村

「大玉村の小さな藍まつり」企画概要



藍を通して、これからの農村と都市の繋がりを考える